

富山販売士協会 平成29年2月度例会
「ベストショップコンテスト2017」ライティング賞受賞記念講演
「大場養蜂園カフェ38店舗展開について」

有限会社 大場養蜂園 代表取締役 大場 靖弘

1. 大場養蜂園の略歴

○ 大場商店から大場養蜂園へ

戦前、営んでいた大場商店から、蜂蜜の生産販売を専業とした大場養蜂園へと業態を変え、現在へと至ります。

先々代が、病気見舞いに頂いたミツバチの巣箱から採れた蜂蜜のおかげで、病気から快復できた事に感謝し、養蜂を業として始めました。先代も金沢での菓子職人修行時代、足に大怪我を負った際に、「蜂針療法」によって回復したことに感謝し、先々代の跡を継いで養蜂業を営み、現在の3代目へと至ります。

2. 養蜂の現場、蜂蜜について

○ 蜂蜜の採取について

蜂蜜の採取方法については、ミツバチが花の蜜を吸ってきたものを巣箱に貯めさせ、「蜂蜜」として仕上げてくれたものを採取します。

何も足さず、何も引かず。

そのままの蜂蜜を採取、お届けしています。

天然物であるため、どうしても天候や花の咲き具合などに非常に大きく左右されます。

○ 蜂蜜について

ミツバチがしっかりと仕上げてくれた本物の蜂蜜は菌が活動できない状態の為、腐りません。菌が活動できないので殺菌力があり、炎症を抑える力もあります。良い蜂蜜を採取する為、花畑を作って頂く事から取り組んでいます。

3. 店舗展開の方向性について

○ 蜂蜜販売専門店からカフェ併設店舗の開設へ

「顧客の高年齢化」、「若年層の蜂蜜離れ」、「本店所在地のわかりにくさ」という問題点を解決するため、支店を開設しました。

お客様にご来店頂きやすい様、ご案内が簡単にできる様、幹線道路、準幹線道路沿いに用地を探し、平成19年8月に支店、新根塚店カフェ38を開店しました。

若年層のお客様にも蜂蜜を身近に感じて頂けるよう、カフェスペースを併設した店舗として開店しました。

4. 新店舗開店にあたって

○ 店舗の設計について

駐車場のスペース拡大が必要となり、移転を決定しました。

お客様用駐車場 6台 ⇒ 16台

従業員用駐車場 敷地内0台 ⇒ 敷地内6台 へと拡大

新たにテイクアウト用の菓子製造厨房を設置しました。

○ 店内のライティングについて

「明るい店内に」、「蜂蜜や商品になるべく光が当たらないように」、「客席に西日が強く入らないように」、「歩道、店舗前面の植栽の緑がお客様の目に入るように」、という点を考慮して窓の配置やレイアウトを考えました。

スポットライトはガラスケースや商品をしっかりと照らし出せるように設置しました。

○ 内装、雰囲気づくりについて

根塚店同様、蜂蜜をイメージしやすい暖色系の壁紙をメインに使用しつつ、上質な雰囲気を出すためにお客様から目につきやすい壁面の2か所には、ウィリアム・モリスの壁紙を使用しました。

陳列什器等は、比較的高額な商品を扱っているため、濃い落ち着いた色合いで統一し、カフェスペースの椅子、テーブル等は少し明るめの色合いで寛げる雰囲気を目指しました。

○ スタッフの採用、教育、人員配置について

スタッフ採用は店長が責任を持って行っており、会社の雰囲気が良くなるよう、一緒に働いて頂きたいと思える方を採用する方針です。

スタッフ一同、お客様に丁寧な接客を心掛けること第一として、商品知識を増やし、わからない事についてはそのままにせず、積極的に質問をしてくれるようお願いしています。

5. 質疑応答

平成 30 年 2 月 28 日 19:00～20:30 カフェ 38 にて